

## 0340 | 西洋美術史I

2 単位（通信授業 2 単位）

篠塚千恵子教授、大清水薫講師、小石絵美講師

## 授業の概要と目標

西洋美術史は、古今の美術作品に触れ、様々な文化と造形表現、創造のありように対する理解を深めることを目的とする。この科目では、紀元前 4 千年紀から 15 世紀までの、古代、中世を取り扱う予定である。四大文明、地中海文明の成立から古典古代様式という西洋美術の根幹となる規範の確立を経て、キリスト教や他民族の文化の融合によって西洋文明の伝統がいかにして形成されてゆくかを考える。特に、絵画や彫刻を始めとして建築や工芸の代表作に触れながら、形と意味、物の見方が歴史的にどのように継承されたり、移り変わったりしたのか理解することに努めることになろう。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1

教科書を踏まえて、エジプト、メソポタミア、ギリシャなどさまざまな地域で展開した古代美術の特性について考察する課題である。

## ○通信授業課題 2

教科書を踏まえて、中世美術の本質とその後代における継承のあり方について考察する課題である。  
\* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

## [通信授業]

教科書の第 1 章ならびに第 2 章を使用する。

## 1 「古代」

1. エジプト美術 / 2. メソポタミア美術 / 3. エーゲ美術 / 4. 古代ギリシャ /
5. エトルリアとローマの美術

## 2 「中世」

1. 初期キリスト教時代 / 2. ビザンティン美術 / 3. 西欧中世初期 / 4. ロマネスク美術 /
5. ゴシック / 6. 早期ルネサンスのイタリア絵画 / 7. 初期ネーデルラント絵画

## 成績評価の方法

## ◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出題する（記述式）。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員課程の設定科目であり、資格取得希望者は 1～3 年次に履修することが望ましい。

## 教材等

教科書：北澤洋子監修『西洋美術史』（武蔵野美術大学出版局 2006 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）